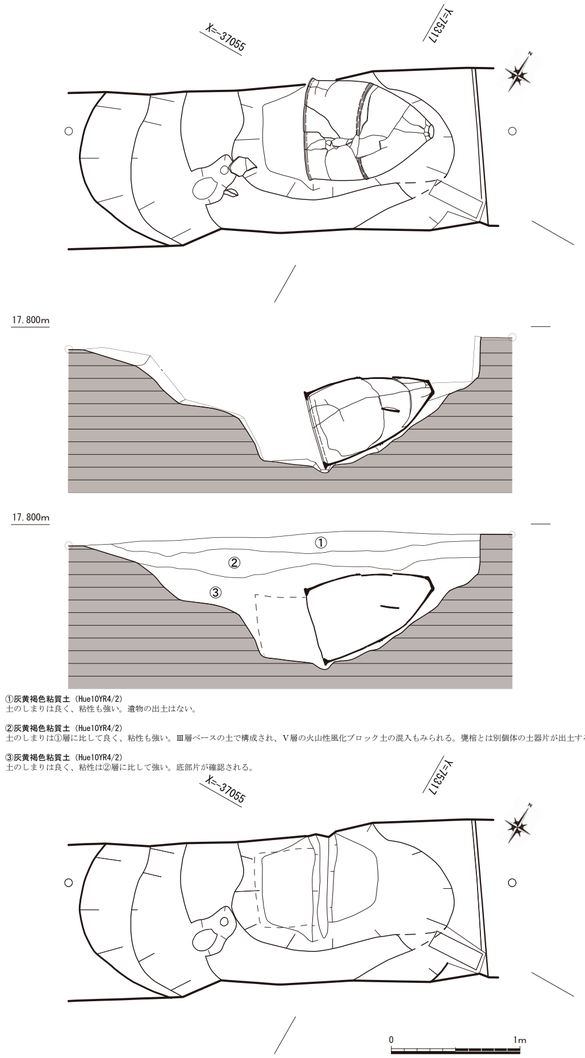
成人棺全体写真

出土状況（口縁部に残る黄色の粘土は
木蓋と甕棺墓をとめた目貼りの痕跡）



実測図

（上…平面、中…断面および土層堆積、下…完掘）

成人棺（せいじんかん）

非常に大きく高さは約1mにも達します。このことから、大人を埋葬した成人棺であると考えられます。小児棺に用いた土器は日常生活で使ったものを転用していますが、成人棺で使用されている甕は最初から埋葬の目的で作られたと言われています。調査の結果、小児棺のような合せ口（あわせぐち）の形態ではないことから、遺体を埋葬した甕だけであったとされます。これは合口甕棺（あわせぐちかめかん）のような複合棺（ふくごうかん）に対して、単棺（たんかん）と呼ばれています。単棺は蓋とする甕も持ち合わせていないので、木蓋が使われたことが推定されます。また、単棺であることから、遺体は体を折り曲げて埋葬されたと考えられます。